

リーダーの皆さまへ

新型コロナウイルスの影響により、リーダーの皆さまも、いつもとは異なる大変な状況を過ごされていることと思います。そのような中、少女たちのために活動して下さりありがとうございます。



ガールスカウトは、家庭や学校に次ぐ、もうひとつの居場所です。休校や日常生活で多くの制限がある中、少女たちは、年齢を問わず、友達や大人とつながることができる、少しでもほっとできる居場所となっています。

4月3日に発表した「STAY HOME バッジへの取り組み」は、リーダーの皆さまのおかげで、たくさんの子どもたちに届いています。

集会を対面でおこなえないことから、全国のガールスカウトが、リーダーやお友達と手紙のやり取りをしたり、インターネットを活用し近況を報告しあったりするなど、さまざまな工夫をいただいています。その様子は、SNSの投稿につけていただいている、ハッシュタグ（#STAYHOME #ガールスカウト）で知ることができます。

STAY HOME バッジ発表から1カ月が経過しましたので、新たなワークシート「安全・ジェンダー版」を追加しました。このワークシートでは、SDGsの「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」を取り上げます。ぜひ、ご活用ください。部門バッジとも関連付けて取り組まれることも期待しています。大人も子どもも、今できることを楽しみ、力をつけ、人の役に立てるよう引き続き、ご協力をお願いします。

一方で、このような環境下で活動をおこなうためには、保護者の方のご理解とご協力が不可欠となります。ガールスカウト教育への理解を深めていただける機会と捉え、活動くださいますようお願いいたします。この度お知らせするワークシートをご家庭で理解いただけるよう、別紙の「保護者の皆さまへ」を作成いたしました。ご高覧のうえ、団名、リーダーのお名前、お問い合わせ先をご記入の上、ご利用ください。

大切なお願い

STAY HOME に関するイメージ（旧デザイン）は二次使用ができません。4月3日に発表したワークシート及びホームページにある旧デザインは、著作権の都合上、二次使用が認められておりません。以下の画像をSNS等に、投稿することはご遠慮ください。今回は著作権の関係から、皆さまから好評をいただいたデザインを変更することになりましたことをお詫びいたします。今後は、活動にご利用いただけるデータをご用意できるよう注意いたします。



資料

会員用ホームページからもダウンロード可能です。

- STAY HOME バッジ実施要項 2020.5
- リーダーの皆さまへ
- 保護者の皆さまへ
- ワークシート 安全・ジェンダー版.pdf
- 自分の未来を想像してみよう「きせかえ」.pdf

バッジについて

バッジの中央にあるアイコンは、「国際連合広報センター」が作成した、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応している取り組みで使用できるものです。<https://www.unic.or.jp/covid-19/>

バッジのお届けは秋以降の予定です。



その他

「きせかえ」のイラストは、子どもたちが性別にとらわれず自分の未来が描けるように配慮しました。制作には、愛知県第62団と愛知県の「活動助っ人座」にご協力いただきました。

STAY HOME バッジ ワークシート 安全・ジェンダー版は、SDGsの「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」を取り上げます。



2020年1月の会長からのメッセージの通り、ガールスカウトは「目標5：ジェンダー平等を実現しよう」を主軸に取り組んでいます。

まだまだ「女の子だから～」「男の子だから～」と性別による固定的役割や、理想像が日常の中に多くあります。ジェンダー平等を達成するためには、大人である私たちが、一人ひとりの中に根深く残る、ジェンダーによる固定観念に注意しながら、少女たちが可能性を伸ばせるよう言葉がけやプログラムに注意していく必要があります。

また、女子高校生たちの62%が、日常生活で様々な性差別や性的な嫌がらせを経験しています。そして、生活の中で、少女や女性が不平等や不合理に直面していることを指摘しています。その一方、レンジャーたちは、「私たちの価値観が変われば未来は変わる！」と言っています。（「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書2019）

ジェンダーとは

社会的・文化的な性差。生物学的な性差と対比して使われます。

ジェンダーバイアスは、社会的・文化的な性差別あるいは、性的偏見のこと。

ワークシート 安全・ジェンダー版について

一見、子どもたちは男女平等の環境で生活しているように思われますが、まだまだ「女の子だから～」 「男の子だから～」と性別による固定的役割や、理想像が日常の中に多くあります。

ジェンダー平等を実現していくためには、大人である私たちが意識して、私たちの中に根深く残る、ジェンダーによる固定観念に注意しながら、少女たちが可能性を伸ばせるよう言葉がけに注意していく必要があります。

なお、このワークシートの内容は、VAV バッジと関連しています。VAV バッジは、VAV リーダーとともに「みんなの声 とわたしの声」（VAV プログラム）のステップ1から6まで取り組むことで取得につながります。（このワークシートだけではバッジ取得につながりません）

ワークシートの取り組みにあたって

- ・ガールスカウトの少女だけでなく、性別にかかわらず広く一般にもお使いいただけます。兄弟も一緒に取り組むことができます。
- ・年代は、テンダーフット部門からレンジャー部門、大人でも利用可能です。

- ・低年齢のお子さんにとっては、ワークシートに文字が多いため、大人の言葉がけが必要です。
- ・テンダーフット部門では、「きせかえ」の遊びを通して、自分の未来を想像するという活動もできます。

大切な視点

ワークシートは以下の点を大切に作成しています。少女たちと活動する際にご留意ください。

1. 子どもたちの心のケアとなるようなもの



慣れない生活、たくさんの情報で大人も子どもも疲れています。TVを消して過ごしたり、自分の気持ちに向き合う、その気持ちを表現することで、少しホッとすることもあります。

2. 子どもたちの安全につながるようなもの



暴力の被害にあうかどうかは予測できません。家で過ごすことが多くなり、DV や家庭内暴力が増えることも懸念されています。もしも、相談できる人を知っていたら、少女自身で助けを求めることができるかもしれません。「あの子は大丈夫。」と大人が決めてしまわずに、学校、地域、家庭などで、なんかイヤだな、モヤモヤするなという時には、相談していいということを教える機会を作りましょう。また、友達同士の相談ごとでも、安全じゃないと感じた時には大人に相談していいことを伝えましょう。

3. ジェンダーの固定観念にとらわれず、生活できるようなもの



「おうちの仕事」では、家庭の中で誰かが役割を担っているものを例にあげています。ご家庭で、それぞれ役割は異なると思いますが、家にいることの多いこの時期だからこそ、家族みんなで考えてみる、話し合ってみるのもいいと思います。ご家庭それぞれの考え方があり過ぎていることなので、「お母さんばかり料理するのはおかしい!」「お父さんばかり買い物するのはおかしい!」などと決めつけるのではなく、「誰がやってもよい」ということを前提に考えてみる・話し合ってみることが大切です。それにより、役割を担っている人への感謝も生まれます。決して、ご家庭のあり方を否定することのないようご注意ください。

4. ジェンダーの固定観念にとらわれず、未来を描けるようになるもの



「未来の自分を想像してみよう」では、性別にとらわれずに自分のなりたい姿を想像できるようにしています。大人の固定観念で、「女の子だから、この職業は適さない」「男の子っぽい」などの言葉をかけないようにご注意ください。

おすすめ資料

“その人らしさ”を応援できる社会のために
～幼児期のジェンダーガイドブック～



制作：幼児期のジェンダーガイドブック制作プロジェクト
<http://teamsustainability.net/files/genderbook.pdf>

ガールスカウトの子どもの保護に関する方針

子どもの保護と安全に関する成人会員ガイドラインをダウンロードする場合は、会員証後ろに貼り付けている最新の ID とパスワードが必要です。



<https://www.girlscout.or.jp/members/all/seijin/cpp/>

女子高校生が感じるジェンダーバイアス 「ジェンダー」に関する女子高校生調査報告書 2019



女子高校生たちの 62%が、日常生活で様々な性別差別的な嫌がらせを経験しています。そして、メディアや周りの人の声掛けで、女の子たちに多大な影響を与えていることがわかりました。私たちの価値観が変われば未来は変わると言っています。

https://www.girlscout.or.jp/activities/project/research/pdf/gsj_genderreport2019.pdf

もっと学びたいとき

今回のワークシートにあるような取り組みについて、もっと学びたいと思われた場合は、全国各地で開催している「子どものための人権教育リーダー養成（VAV リーダー）」をぜひ受講してください。今年度も開催を予定しています。（新型コロナウイルスの影響により開催時期は変更される予定）

ご不明な点は、お問い合わせください。

担当：篠宮

E-mail: program@girlscout.or.jp